

JST ダイバーシティセミナー

性差に基づく 新しいイノベーション論 ～科学におけるジェンダード・イノベーション～

Gendered Innovations in Science, Health & Medicine, Engineering, and Environment



Londa Schiebinger

スタンフォード大学歴史学部 ジョン・L・ハインツ科学史教授

1974年 ネブラスカ大学リンカーン校英語学部 (学士)

1977年 ハーバード大学 大学院 歴史学部 (修士)

1984年 ハーバード大学 大学院 歴史学部 (博士)

書籍: 女性を弄ぶ博物学 (1996年)

科学史から消された女性たち (1992年)

ジェンダーは科学を変える!? (2002年)

植物と帝国 抹殺された中絶薬とジェンダー (2007年)

講師

ロンダ シービンガー

スタンフォード大学教授

私たちの身の回りには、日々の生活を便利にする発明品がたくさんあります。これらのほとんどが研究者たちによる長年の研究開発の成果です。ところが時々、どうも自分には合わない、使い勝手が悪い、といった不具合を感じる場合があります。これはその発明品が老若男女、すべての方に適した形で作られたものではないからです。

乳幼児と高齢者の差と違い、男性・女性についてはその差がどの程度大きいのか、研究者たちも十分に理解しておらず、性差に配慮した研究開発はまだまだ発展途上と言えます。研究開発において無意識に男性を基準としてきた歴史のなかで、性差に配慮する重要性に誰も気づかなかったのです。

タイトルの「ジェンダード・イノベーション」という言葉は、シービンガー博士が世界で初めて提唱したものです。男女の性差を十分に理解し、それに基づいた研究開発をすることで、すべての方に適した「真のイノベーション」を創り出そう、という新たな考え方です。

科学史の中に隠されていた女性の存在を様々な角度から浮かび上がらせた彼女の業績は、EU(欧州連合)の「女性と科学」政策に大きな影響を及ぼしジェンダーサミット*発足の原動力となりました。

* ジェンダーと科学に関する国際会議。2011年の発足以降、世界的に展開中。2017年5月には日本で開催されます。

日時: 2016年3月16日(水) 13:30～15:00 (開場13:00)

場所: JST 東京本部(サイエンスプラザ)B1大会議室

千代田区四番町5-3(東京メトロ麹町駅より徒歩5分 各線市ヶ谷駅より徒歩10分)

参加無料 *日英同時通訳付き

参加登録 <http://formjst.go.jp/enquetes/20160316entry>